

仙南地域における、宮城県各公所の取り組みを紹介します。

SENNAN the ザ KING 王

令和5年度第1号(通算第51号)

令和5年7月14日発行

大河原管内 合同広報誌
発行:宮城県大河原地方振興事務所

仙南地域のシンボルである蔵王は、地域にとって、言わば『王様』です。大河原地方振興事務所では、蔵王を仙南地域共有の大切な財産とし、地域の皆さまとともに、地域振興を進めていきます。

The・KING ~ 今号の注目記事 ~

蔵王エコーラインが開通しました



仙南地域を代表する観光資源である「蔵王エコーライン(主要地方道白石上山線)」は、令和4年11月4日午後5時より、みやぎ蔵王すみかわスノーパーク入口から山形県境までの区間で冬期通行止めをしていましたが、去る令和5年4月21日午前11時に開通しました。

令和2年より、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、開通式典を中止したり、規模を縮小したりするなどの対策を行ってまいりましたが、今年は、山形・宮城両知事をはじめ関係者約150名の参列により、盛大に開通式典を行いました。当日は、あいにくの強風に加え濃い霧に包まれる悪天候となり、旧刈田レストハウス内で神事を行った後、開通と蔵王連峰の山開きを宣言し、屋外でテープカットとくす玉開きを行いました。今年は、例年通りの降雪量でしたが、春先の気温が高くなったこともあり、名物である道路脇の雪

の壁は、昨年より2m程低く、5月末には雪の壁はなくなりました。開通に先駆けて、令和5年4月7日~10日に開催された「雪の壁ウォーク」では、4年ぶりに海外から団体客が訪れるなど、多くの観光客で賑わいました。これからは夏山シーズンとなり、快晴時にはお釜をはじめとした蔵王連峰に加え、遠くは朝日連峰の絶景も楽しむことができますので、ぜひお越しください。

【大河原土木事務所】



除雪作業中



蔵王の御釜

くらし・環境

自動車税種別割の納期内（5月31日）

納税推進キャンペーンを実施

宮城県では県税収入の約11%を占める自動車税種別割の納期内納付率向上を図るため、毎年5月に「自動車税種別割納期内納税推進キャンペーン」を実施しています。

大河原県税事務所においては、管内の事業所や公共施設等に対して納期内納税PR用ポスターの掲示をお願いしました。また、合同庁舎構内に納期内納税を呼びかける横断幕を設置し、来庁される皆様へPRを行いました。



納期内納税を呼びかける横断幕



大河原県税事務所入り口に設置されたのぼり

今年度、自動車税種別割は県全体で約93万6千台、約333億円が課税されており、大河原管内においては約6万1千台、約22億円を課税しました。納めていただいた自動車税種別割は復興事業をはじめとする県事業の貴重な自主財源となります。県税の納期内納税の推進につきましては今年度も多くの皆様からご協力を賜りお礼申し上げます。今後も納期内納税よろしくお願いいたします。

【大河原県税事務所】

防災・安全

あなたのブロック塀は安全ですか？

ブロック塀の倒壊で児童が犠牲になった平成30年の大阪府北部地震をきっかけに、県はスクールゾーン内にあるブロック塀の安全性を調査しました。

これまでも、「改善が必要」なブロック塀の所有者に対しては訪問や文書により、「要注意（経過観察が必要）」の所有者に対しては文書により、改善等をお願いをしているところです。



スクールゾーン内のブロック塀



「要注意」のブロック塀

今年度からは範囲を広げて「要注意」の所有者についても訪問によるお願いをしますので、訪問した際にはご協力くださるようお願いいたします。

なお、改善にあたって補助制度が活用できることもありますので、ご利用の際は改善前に各市町へお問合せください。

【大河原土木事務所】



あなたのブロック塀は安全ですか？

～ルール遵守と日ごろの点検で安心安全なブロック塀を～

観光・文化

ナンゾ解きスタンプラリー

「県南ご当地キャラクターを探せ!2023」

宮城県南地域では、昨年も好評をいただいたナンゾ解き発見ゲーム「県南ご当地キャラクターを探せ!2023」を開催しています。県南2市7町のご当地キャラクターたちから届いた「招待状(リーフレット)」に書かれた「ナンゾ」を解き、隠れているキャラクターを見つけ出すナンゾ解きスタンプラリーです。キーワードとスタンプを集めて応募すると、抽選で64名様に温泉宿泊券などの豪華賞品が当たりますので、ぜひチャレンジしてください。

●開催期間/7月1日(土)~9月30日(土)

●応募用紙/県内の主な観光施設等に配架しているほか、HPからもダウンロードできます。

●問合せ先/県大河原地方振興事務所
地方振興部 ☎0224(53)3182

【地方振興事務所 地方振興部】



ご当地キャラクターを探せ!ポスター



詳細はこちらから



村田町の「ナンゾ」

商工業・雇用

令和5年度せんなん工場探検隊

「夏休みに親子で工場見学しよう!」

仙南地域は、多様な「ものづくり」の製造拠点が集積しており、地域経済を支える重要な役割を担っている一方、人口減少や少子化等の社会的課題を背景として、ものづくり事業者の人材確保や技術継承等が課題となってきました。

そこで、本地域の若年層が幼少期からのものづくりに対する興味関心を持ち、将来的に本地域内で優れたものづくり人材として育っていく契機とするとともに、保護者に対しても本地域内のものでくくり企業の認知度向上を図っていくため、小中学生の親子を対象として、仙南地域内のものでくくり企業の工場見学、体験等を行う「せんなん工場探検隊」を開催します。

せんなん工場探検隊

「夏休みに親子で工場見学しよう!」



詳細はこちらから

せんなん工場探検隊 チラシ

■開催期間
令和5年7月24日(月)から8月24日(木)までのうち、参加企業が設定する日程。

■参加企業

- ・NECプラットフォームズ株式会社
- ・ホーチキ株式会社 宮城事業所
- ・株式会社マトロ・アルプスアルパイン株式会社 角田工場
- ・株式会社アステム
- ・株式会社コイワイ 宮城工場
- ・プラスエンジニアリング株式会社 仙台事業所
- ・株式会社五洋電子 仙台工場
- ・リコーインダストリー株式会社 東北事業所
- ・メルコジャパン株式会社

【地方振興事務所 地方振興部】

商工業・
雇用

白石高等技術専門学校

オープンキャンパス2023

白石高等技術専門学校オープンキャンパス2023を7月22日(土)及び8月19日(土)に開催します。

オープンキャンパスでは、訓練内容や学費、入試日程、修了後の就職状況などを説明する「全体説明」、各実習場を見学する「施設見学」、各科ごとに40分程度の実習が体験できる「体験実習」、学校生活や学費の減免等について相談できる「個別相談」等を実施します。

両日とも同じ内容になりますので、本校に興味がある方や入学を検討される方は、御都合のよい日に御参加ください。事前申し込みは不要です。詳しくは本校のホームページを御覧ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



詳細はこちらから



全体説明の様子



体験実習

【白石高等技術専門学校】

農林畜産業

150年生の森林づくりで

表彰されました

令和5年5月26日、宮城県林業振興協会通常総会において、県制150周年記念事業として、県制150年の歴史と同じ年数の森林を手入れされている、角田市の佐藤正友さんが表彰されました。

多くの森林は、戦中戦後に伐採されたこともあり、100年以上の森林は数少ない中、持続可能な森林経営を行い、また



表彰される佐藤正友さん

指導林家として長年にわたり、林業振興に尽力いただいたことから表彰されたものです。

150年生の森林はスギ林で、下層に40年生のスギとヒノキが育っている手入れも行き届いており、長く大事にされたことがよくわかる森林でした。この度は、誠におめでとうございます。今後のご活躍をご祈念いたします。

【地方振興事務所
林業振興部】



150年生のスギ林



とうもろこし(品種「味来」)

の生産支援について

村田町では地域特産品として、甘みが強く食味が良い「味来」に代表されるとうもろこしの生産が盛んに行われています。毎年出荷時期になると道の駅「村田」内にある直売所へ、町内外からたくさんの方が購入に訪れます。普及センターでは更なる生産拡大を図るため、村田町や道の駅と連携し、生産の中心となる生産団体「村田ファーマーズ」を対象に、生産技術の向上や販売促進に関する支援などを行っています。



現地検討の様子



とうもろこし(品種「味来」)

6月15日には普及センター主催でとうもろこしの栽培講習会を行い、16人が参加しました。今後の管理方法や、ハウスを利用した抑制栽培等について説明を行った後、地域の中核的生産者のほ場へ移動し、栽培管理方法について生産者同士での意見交換等を行いました。

【地方振興事務所
農業振興部】

小学生と「田んぼの生き物調査」を行いました

令和5年6月26日、柴田町立榎木小学校の2年生76人による「田んぼの生き物調査」が行われました。

この行事は、大河原地方振興事務所が主催する「仙南地域小中学生キャリア教育推進事業」の一環として、



田んぼで生き物探し



田んぼの役割などについて職員が説明

農業農村整備部職員が講師となつて小学生と一緒に田んぼの生き物を採捕し、子どもたちに地域の豊かな自然を感じてもらおうというものです。

子どもたちは、始めに、田んぼの役割や自然環境について職員から説明を受け、次に、田んぼの用水路で生き物を実際に捕まえて観察しました。カエルやドジョウ、タニシ、ザリガニなど様々な生き物を見つけた子どもたちからは大きな歓声が上ががり、普段あまり見ることのできない身近に棲む生き物の様子に目を輝かせていました。

【地方振興事務所
農業農村整備部】

農業におけるRnX(デジタルトランスフォーメーション)への取組開始について

最新のデジタル技術を農業に取り入れることで、高齢化や人手・後継者不足などの課題が解決できると期待されているのが、農業におけるDXへの取り組みです。

県では、県内ほぼ全域を網羅する7か所にRTK基地局※を整備し、令和5年4月1日から運用が開始されています。管内では、農作業省力化を目指す9者(5月20日現在)が、自動操舵トラクターや自動航行ドローンを導入し、利用を開始しています。



自動操舵トラクター



自動航行ドローン

今後も普及センターでは、ヤマアグリジャパン(株)及び農業・園芸総合研究所などと連携を図りながら、農地の効率的活用や効率化・省力化を目指し、農業のイノベーションを支援していきます。

※RTK: Real Time Kinematic (リアルタイムキネマティック)の略。測位誤差を数cm以内に抑えられるのが最大の特長。基地局からの有効受信範囲は半径約20km。

【地方振興事務所 農業振興部】

「仙南地域和牛共進会」が開催されました

仙南地域の優秀な雌牛を決定する「第25回仙南地域和牛共進会」が6月28日に大河原町で開催されました。共進会には、白石、角田市、蔵王しばた及び丸森町の各和牛改良組合から選び抜かれた優良牛計22頭が出品されました。審査の結果、角田市の加藤幸一氏が出品した「なおこ」号と「なおみ」号のセットに大会ナンバー1の名誉賞が、角田市和牛改良組合に団体賞がそれぞれ授与されました。



審査の様様

大会史上初めて全4区の最優秀賞がすべて異なる組合から選出されました。これは互いに切磋琢磨し、技術の向上を図って来た成果です。上位入賞牛は9月8日、9日に美里町にて開催される県共進会への出品が予定されるため、関係者一丸となり、調教指導等を行い、チーム仙南で上位入賞を目指します。

【地方振興事務所 畜産振興部】



表彰式の様子

観光・イベントに関するお知らせ



みやぎ仙南の郷土料理である「おくすかけ」のレシピや仙南地域でおくすかけを提供している店舗を紹介いたします。



みやぎ蔵王山麓に所在する白石市小原温泉・鎌先温泉・白石湯沢温泉、蔵王町遠刈田温泉及び川崎町青根温泉・義々温泉の各温泉地が連携し、「みやぎ蔵王温泉郷」として一体的な情報発信や誘客の取組を行っています。

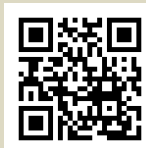


「みやぎ蔵王三十六景」とは、みやぎ蔵王を背景としたすばらしいスポットです。仙南地域の新しい観光資源として、地域振興を進めていくために、仙南2市7町の各地から選定しました。



せんなんスイーツPR
キャラクター
せんにゃん

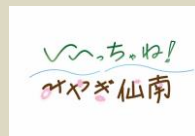
仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」やカフェ 60 店舗を御紹介しています。猫の神様「せんにゃん」と一緒に、スイーツ巡りをしてみたいかがでしょうか。



ツイッター



インスタグラム



大河原地方振興事務所公式ツイッター・インスタグラム「いいちやね、みやぎ仙南！ #んだから〜」では、宮城県南地域のいいとこ情報を積極的に発信しています。

第1回蔵王に登ろう！山ガール教室

今回は、刈田岳からお釜く熊野岳コースです。強い風が吹きましたが、天気は良く、このコースの絶景ポイントは、しっかりと見ることができました。また、蔵王自然の家登山支援ボランティアの皆さんの、植物、火山、蔵王の歴史など、この土地の環境についてのお話によって、さらに登山の面白さを味わうことができました。



お釜をバックにした参加者の様子

参加者の感想より「初心者に合わせて休憩をしたり、楽しいお話を交えてくれたり、とても親切でした。また、参加したいです」や「自分の年齢に近い方が多く、よい刺激になりました。もっと登山にチャレしてみたくなりました」などの声が聞かれました。

【蔵王自然の家】



頂上での集合写真

満喫！蔵王の春

満喫シリーズ第1弾の春ですが、1日目はシェードランプづくり、フィールドビンゴ、ニジマスつかみと盛りだくさんのプログラムを満喫することができました。本所の定番プログラム「ニジマスつかみ」では、参加者たちはおいしく命をいただくことの大切さを学びました。夕食は遠刈田産の食材のみで作られたメニューで、たけのこご飯など春を感じるひとときとなりました。



ニジマスつかみの様子

2日目の新緑の絶景スポットを歩こうでは、雨が降ることもありましたが、お釜を見たり、目的地の舟石やハートランドまで歩くことができたなど、各コース活動することができました。8月に行われる第2弾の「満喫！蔵王の夏」も、たくさんのお申込みをお待ちしております。

【蔵王自然の家】



参加者の集合写真

高校生が棚田で田植え実習を行いました

田植え後の
棚田の様子

機械作業での
田植えを体験

令和5年5月23日、「つなぐ棚田遺産」に選ばれている丸森町の「大張沢尻棚田」で宮城県伊具高等学校の生徒による田植えが行われました。令和2年から行われているこの農業体験実習では、田植えに始まり、畦の草刈りや水の管理、イノシシ対策の電気柵の設置など、田んぼの保全活動や中山間地域の苦労を学んでいます。

田植え当日は、あいにくの雨天となりましたが、棚田を管理する「大張沢尻棚田集落協定」の農家の皆様のご指導の下、丁寧な作業が行われました。秋には収穫作業が行われ、美味しい棚田米の試食が予定されています。なお、棚田地域の振興に貢献するこれらの活動に対しては、令和5年3月に農林水産省主催の「つなぐ棚田遺産」感謝状が贈呈されており、一層の取り組みが期待されています。

【地方振興事務所 農業農村整備部】

次号は11月中旬の発行予定です

【編集後記】

今号では、ナゾ解きスタンプラリー「県南ご当地キャラクターを探せ！2023」についてご紹介しました。「ナゾ」を解きながら、仙南地域を回り、夏の仙南の魅力を思う存分味わってみてはいかがでしょうか。



〜っちゅね!
みやぎ仙南



読者の皆様からのご意見、ご要望をお待ちしています。
下記までお気軽にお寄せください。

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部
〒989-1243 柴田郡大河原町字南 129-1

TEL：0224-53-3182（直通）

FAX：0224-53-3076

E-mail：oksinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/>

